

新しい基幹種雄牛「^{はなふくひさ}華福久」号について

酪農肉牛部 肉牛チーム TEL:0229-72-3101

研究の目的

優れた宮城県産の種雄牛を造成し、宮城県産牛の市場価値の向上や地域の肉用牛の改良を推進することを目的として、肉用牛集団育種推進事業により和牛能力検定を行っています。近年では、本事業により生産された「茂福久」号などの産子が生牛市場において、高い評価を得ています。

研究成果

「華福久」号は、父に「茂福久」号、母方祖父に「華春福」号、母方曾祖父に「福華1」号を持つ、茂金系、田尻系、気高系からなる血統の、「茂福久」2頭目の後継種雄牛です。

「華福久」号は、和牛産肉能力検定の結果から、枝肉重量 531kg は全国平均を超え、しもふりの度合いを示す BMS No. は 10.4 となりました。脂肪の質も良く、質量を兼ね備えた枝肉が多く見られたのが特長です。

子牛は発育が良好で、体の伸びに優れたものが多く見られました。優れた増体量とともに、優れた肉質が期待でき本県の肉用牛の改良と「仙台牛」のブランド力の向上に大きく貢献できるものと期待しています。



写真1 「華福久」号



写真2 産子の枝肉

利活用の留意点等

どの血統でも安定した枝肉成績が期待できますが、「茂福久」号の娘牛との交配は近交係数が15%を超え高くなるため避けること。また、「茂洋」号及び「華春福」号の娘牛への交配も近交係数が比較的高くなる（約7～9%）ことから注意が必要です。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第101号（令和8年発行）

「新しい基幹種雄牛「華福久」をご覧ください。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html

